

様式2

精神疾患等の公務起因性判断のための調査票

1 一般的事項

支 部 名		請 求 年 月 日	
		支 部 受 理 年 月 日	
氏 名		傷 病 名	
生 年 月 日		傷 病 の 程 度	
職 名		被 災 日 時	
所 属		被 災 場 所	

2 災害発生の状況

3 災害発生前の勤務状況

(1) 職歴及び精神疾患発症前後の経過

(2) 組織、人員配置及び事務分掌

(3) 上司、同僚、部下等の病休、欠員等の状況

(4) 勤務形態

(5) 職に割り当てられた所定の業務内容

(6) 業務負荷の状況

時 期	請求者の主張	所属部局の意見及び 職場関係者の証言等

(7) 時間外勤務等の状況

ア 勤務公署における時間外勤務

発症前1か月間	
発症2か月前の1か月間	
発症3か月前の1か月間	
発症4か月前の1か月間	
発症5か月前の1か月間	
発症6か月前の1か月間	

イ 自宅等における作業

発症前1か月間	
発症2か月前の1か月間	
発症3か月前の1か月間	
発症4か月前の1か月間	
発症5か月前の1か月間	
発症6か月前の1か月間	

(8) 休暇の取得状況

(9) 通勤の経路、方法、通勤時間等

4 災害発生前の身体・生活状況

(1) 身長及び体重

(2) 業務以外の負荷

ア 離婚又は夫婦が別居した 有・無

イ 自分が重いけがをした又は流産をした 有・無

ウ 配偶者や子ども、親又は兄弟が死亡した 有・無

エ 配偶者や子どもが重い病気やけがをした 有・無

オ 多額の財産を損失した又は突然大きな支出があった 有・無

カ 天災や火災などにあった又は犯罪に巻き込まれた 有・無

キ その他上記に準ずるような強い業務以外の負荷があった 有・無

(アからキまでのうち「有」に該当する事項があった場合は、その概要も記入)

(3) 個体側要因

ア 精神疾患の既往歴 有・無 (「有」の場合のみ以下を記入)

(ア) 疾患名、発症時期、療養の状況

(イ) 医学的所見

イ 社会適応状況、性格傾向

(ア) 所属部局

(イ) 本人（自殺事案の場合は遺族）

ウ アルコール等

(ア) 飲酒の状況 有・無 （「有」の場合のみ以下を記入）

種類及び量 日本酒 合／日 ビール 本／日 洋酒 杯／日

頻度 毎日飲む 左記以外 回／週

飲酒による生活の異常等の有無とその内容：

(イ) その他

5 その他の事項

(1) 診断書

(2) 意見書

ア 疾患名及びその根拠

イ 発症時期及びその根拠

ウ 精神疾患の既往歴

エ 初診日及び初診時の主訴、症状等

オ 治ゆの日時又は今後の治ゆの見込み

カ 治療経過及び治療内容

(3) 被災職員の肉体的・精神的不調和の状況

ア 本人の訴え

イ 家族からみて

ウ 職場関係者からみて

6 任命権者の判断